

第5回 京都椎体骨折治療研究会 開催報告

令和元年7月6日（土）に第5回 京都椎体骨折治療研究会を開催しました。今回から4名の新会員の先生が入会されました。また会の名称を京都・臨床脊椎グループミーティングから京都臨床脊椎カンファレンスに変更することになりました。

今回の研究会は一般演題3題と特別講演に済生会滋賀県病院 整形外科主任部長の竹下 博志 先生に「胸腰移行部椎体破裂骨折に対する後方ショートセグメント固定術における整復阻害因子」についてご講演いただきました。一般演題にはテリパラチドの有用性を示す症例が多いことなどが発表されていました。特別講演、一般演題ともに椎体骨折治療に関する討論が活発に行われました。

特別講演をしていただきました竹下 博志 先生、座長を務めていただきました宮本 達也 先生と小倉 卓 先生、また開催準備をしていただきました旭化成ファーマ株式会社の皆様には、この場をお借りしまして深くお礼を申し上げます。



共催：旭化成ファーマ株式会社
京都臨床脊椎カンファレンス